



(損保版)

第1~4月曜日発行
発行所 新日本保険新聞社
大阪府西区本町1丁目5-15
電話 (06) 6225-0550 (代表)

©新日本保険新聞社 2019

シンニチ保険Web

www.shinnihon-ins.co.jp

購読者専用バックナンバー
閲覧パスワード

eccentric

2019年4月1日 AMまで

※偶数月の第一月曜日正午ごとに変更

東京代協

東京代協(磯利二会長)は2月13日、創立75周年を記念した感謝の会を東京・新宿の京王プラザホテルで開催した。当日は、今年度の損害保険トータルプランナー新規認定者への記念品授与式も挙行。会場には、同認定者や長年にわたり同代協の発展に功績を残した永年会員代理店をはじめとする会員代理店270名と来賓120名の約400名が一堂に会し、創立75周年を祝した。

創立75周年記念し感謝の会を開催



損害保険トータルプランナー新規認定者との記念撮影

損害保険トータルプランナー
認定者記念品授与式も

直近5年で269の新会員
日本代協の中核的役割

式典では、東京代協の磯利二会長、日本代協の金子智明会長が挨拶。次いで、来賓からは財務省関東財務局の田中琢二局長と損害保険協会の西澤敏二協会長が祝辞を述べた(各挨拶の要旨は別掲)。損害保険トータルプランナー新規認定者への記念品授与式では、東京代協の今年度新規認定者126名のうち、式典参加者一人ひとりに金子会長から記念品が手渡された。新規認定者を代表して挨拶した廣田隆之氏(株式会社いけいん保険エージェンシー)は「損害保険トータルプランナーの資格を取得したことで、お客様に一段の安心を届けるようになったと思っている。実際、お客様との信頼をより深めることができている。この資格を上げるために、まだ取得していない同業者に向けていろいろな場面で呼びかけをしてもらいたい。また、業界外の方々に対しても、この資格がもっと認知されるよう、拡散してもらいたい。私たち代理店がこうしたことを意識して行動に移せば、損害保険トータルプランナーは社会に一段認知されていくこと

を確信している」と話した。

永年会員表彰には、東京代協発展の功労者として31名が登壇。磯利二会長から感謝状と記念品が贈られた。代表して挨拶した佐藤貞一郎氏(株式会社豊明商會)は、戦後から今日に至るまで代理店業界の発展に寄与してきた募集人たちに感謝の意を表し、「東京代協が発足した昭和18年の時は戦争真っ只中で、私はまだ13、14歳だった。そんななかで消費者を守ってきた当時の代理店の人たちの心持ちや気持ち、行動がどのようなものだったかは筆舌には尽くしがたいものがある。東京代協は日本代協の中核として、そして保険代理業としての社会的な地位を確立してきた。これから新たな時代や力がどんどん出てくる。これまでの良いところは残し、同時に新しい人たちが活躍できるように取り組んでほしい」と述べた。

■磯利二会長挨拶
創立75周年記念感謝の

お客様満足度を向上させる努力を継続



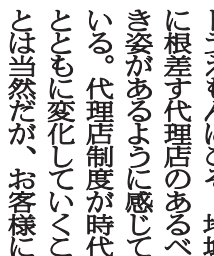
東京代協・磯利二会長

会を企画した理由は、東京代協が創立75周年を迎えたことに加え、直近5年で新たに269の会員が入会され、普段、行事に参加いただけない方や多くの皆様とともに喜びを分かち合いたかったから。改正保険業法の主旨でもある顧客本位の業務運営の深化に向けて、PDCAサイクルをきちんと回し、会員が連携して代理店経営に関する情報交換を行い、自社の保険募集人の資質向上に取り組み、お客様満足度の向上につながることに重要だと考えている。そのことがすなわち、東京代協の会員ならびに東京代協全体の存在価値の向上につながることを信じて、引き続き努力を重ねていきたい。多くの会員の皆さまから、取引保険会社を超えた代協の仲間としての生きた情報交換ができ、



日本代協・金子会長

■金子会長挨拶
これからの時代はIoTやAI、インシユアテックといったデジタル化がますます進むと思われるが、我々は生身の人間なので、ハートトゥハーの付き合い、心と心の



関東財務局・田中局長

■田中局長挨拶
保険代理店の皆様には日頃から地域に密着し、顧客との接点を結ぶ役割を担っていただき、顧客ニーズや利益に合う保険商品を提供し、不測の事態に備えるための補償機能を発揮することにより、経済成長や国民生活の安定に貢献することが期待されている。保険募集の基本ルールとして、意向把握義務と情報提供義務を導入した改正保険業法の施行などを踏まえ、今後もより一層、保険会社とともに顧客本位の業務運営に取り組んでいただきたい。私たち関東財務局も、日本代協、損害協会ならびに各保険会社と連携して、皆さまとともに諸課題に適切に対応していきたくと考えている。



損害保険協会会長挨拶

■西澤協会長挨拶
損害保険業界ならびに保険代理業は、お客様から「助かった、ありがとう」という言葉を言ってもらえることで、やりがいや生きがいが生まれ、そしてまた、お客様との信頼関係につながっていくのだと思う。損害保険業界はまさにプロ中のプロである皆さんとともに、お客様との信頼関係を基盤として、安心・安全・持続可能な日本の未来に貢献していきたくと考えている。東京代協ならびに会員代理店の皆様、75周年という記念すべき節目を一つの契機に、ますます発展することを心より祈念している。